

脱・付属品

まだ付属品で満足してるんですか？

パソコンを購入すると当たり前のようにマウスやキーボードが付属しています。でもお店にはたくさんのマウスやキーボードが販売されています。パソコンの付属品にも良いものはありますが、それよりもっと良いものもあるからです。マウスやキーボードはいつも手に触れる機器です。どうせなら使いやすく、自分に合ったものを使いたいですね。きっと作業効率がアップするはずですよ。

マウス 本当の良さは、使って見ないと分からない！

パソコンに付属しているマウスを使っている方がほとんどだと思います。でも、マウスもキーボードも直接手で触れて使うものですので、その使いやすさが直接作業効率に結びつきます。思い切って買い換えてみるのも作業効率のアップにつながるかも知れません。ワイヤレスマウスを使っている方は、コード付きマウスに変えると、その軽さに驚くでしょう。手首にかかる負担も軽くなり、長時間使っても疲れが少なくなると思います。ホイール付きマウスでない方も、ホイール付きマウスに変えてみると、手放せなくなるでしょう。「壊れていないから」と言って付属品にこだわってはいけません。いろいろな種類のマウスがありますので、いろいろ試して一番自分に合ったものを手に入れましょう。また、家庭で使うなら、手の小さな子供のために子供用マウスと自分用マウスを使い分ける事も考えましょう。USBマウスならいつでも差し替えができますよ。



← マイクロソフトの定番光学式マウス。チョツと大柄ですがオススメです。

エレコム充電式コードレスマウス。当たり前ですが充電器にはコードが付いています。



キーボード キーボードを変えるとキー入力が楽しくなる！？

キーボードはあまり壊れるものではありません。ジュースでもこぼさないかぎり…。マウスと同様に、普通は付属品を使い続ける方が多いと思います。でもキーボードも他のものに変えてみると思わぬ発見がある時もあります。例えば、テンキーの無いキーボード。数字をあまり打たない方は、テンキーの無いキーボードにする機を広く使えます。ノートパソコンを主に使っている方はストロークの浅いキーボードにすると違和感が少なく入り効率が上がるのでは？キーボード選びは、たいた時の感触が一番大事なポイントです。機種によってその感触は様々です。人が使っているものやお店に並んでいるものを触り、フィーリングの合ったものを探しましょう。スムーズに入力できるキーボードに出会うと、入力作業が楽しくなります。リズムの良いキーボードの音がオフィスに響くと、周りの人の作業効率もアップすると思いますよ。



液晶モニタ 画面サイズと解像度の関係って微妙なんです！

17型液晶が3万円台で手に入る時代になりました。液晶モニタは、「省スペース」「省エネ」といいこと尽くめ。次にモニタを買うなら絶対に液晶がおすすめ。でも注意したいのが解像度。15型は解像度1024×768が、17型は1280×1024が一般的です。計算してみてください。解像度のアップに画面サイズが付いてきていません。という事は15型から17型に変更すると、アイコンや文字が小さく映るのです。15型と同じアイコン、文字の大きさを求めると19型になります。思い切って19型も考えてみてはいかがでしょうか。

どうせ液晶モニタを買うのなら、とことん省スペースにこだわって見ませんか。机の上をすっきりするために、スピーカー内蔵がいいですね。モニタの後ろ、机の後ろもすっきりするために電源内蔵もgoodです。電源アダプタって意外に邪魔になるんです。そんなところも要チェックです。

入力端子がアナログとデジタルの2つあるものも簡単なパソコン切り替え器として使えます。2台のパソコンを繋いでモニタの入力切替スイッチで切り替えれば、マウスやキーボードは2組必要ですが、モニタは1つで済みます。逆に、ディスプレイボードを増設して1台のパソコンに2台のモニタを繋ぐのも作業効率が上がり、大変便利です。モニタの画質調整機能は頻繁には使いませんが、日本語メニューのものが良いですね。カタログとお店で確認してみましょう。

FlexScan S190



デジタルDVI-D アナログD-Sub15

マウス、キーボード、液晶モニタの3つしか取り上げられませんが、パソコンにはこのほかにスピーカやマイクなども付属する事があります。パソコンで本格的に音楽を楽しむためには、付属品ではチョツと役不足です。スピーカやマイクも買換えの対象になるのではないでしょうか。パソコンの付属品は、本体に合わせた色やデザイン、素材が使われる事が多く、トータルデザインということでは良いかも知れませんが、コストダウンの影響を受けやすい機器でもあります。デザインだけ良くても、使い辛ければ意味がありません。パソコンは飾るものではなく、使うものなので、皆さんも付属品にこだわらず、自分だけの逸品を探し求めてみてはいかがでしょうか。

気に入ったモノは最初から！？

自宅のパソコンなら、付属品の買換えだけでなく、本体の組み立てと言う選択肢もあります。本屋さんに行けば、たくさんの自作パソコンの本があります。パソコンの自作と言っても、いくつかの部品を組み立てるだけで、思っているより簡単なものです。不安があれば、ショップでいろいろ聞いてみれば良いのです。ショップの人も慣れたもので、初心者にも分かりやすく教えてくれるはずですよ。自作パソコンならマウスもキーボードもモニタもすべて最初から好きなものが選べます。予算に合わせる事や、色にこだわる事も自由です。動画や音楽編集にこだわったパソコンや、ゲーム専用パソコンなど、世界に一つしかないパソコンが出来上がります。パソコンの簡単な仕組みも分かるので、周辺機器の増設などが自分で簡単に出来るようにもなります。大容量の内蔵HDDを増設したりDVDドライブをダブルで装着したり、最新の部品を自由に取り付けたり、パソコンの楽しみが広がります。機器のトラブルは自分で対処しなければいけません、それも自然に解決できるようになります。最初から、自分の気に入ったマウスやキーボードに出来る自作パソコンですが、気が付くとメーカー製のパソコンより高くなってしまいう事もあります。「本体はメーカー製、マウスやキーボードは自分の気に入ったモノ」と言う構成が一番良いのかも知れませんが。

最高のキーボードを求めて…

キーボードの話をもう一つ。キーボードを購入する時は、実際に触って感触を確かめるのが基本ですが、お店で触って気に入っても実際に自分の机に置き、椅子に座って使い始めると今ひとつ、という事もあります。キーボードの良し悪して仕事の効率が大きく変わってしまう事もあります。どうすれば自分にピッタリのキーボードに出会えるのでしょうか？それは、やっぱり使ってみるしかありません。何年もかけ、いろいろ使ってみて自分にピッタリのキーボードを見つけるのもパソコンの楽しみのひとつです。自分にピッタリのキーボードを見つけた人の中には、製造中止になる前に2台も3台もまとめ買いする人もいます。ちなみに私は10年ぐらい前の富士通製パソコンに付属していたキーボードがお気に入りです。家でも会社でも使っています。

開発室から

今回は私の失敗がもとネタになっています。キーボードなんて、安物でキーが戻らなくなったものと、色だけで選んでキー配列が他と微妙に違うものの2回も失敗しました。スピーカと自作パソコンの本体ケースでも失敗しました。青いランプものを買ってしまって、その眩しさに困っています。マウスだけはマイクロソフトの定番の光学式マウスを買って、今のところ何事もなく使っています。でも、私の友人の光学式マウスはパソコンの電源を切っても赤く光ったままです。どうしてでしょう？どなたか知ってる方いませんか？